

関東大会 TO 主任マニュアル

試合前

- ・ 割り振りをされた試合の TO の全責任を持つ。
- ・ 担当試合のスコアシートのコーチサインを本部 TO 席で確認しコートに持参する。
- ・ 審判、コート主任とのコミュニケーションを取り、円滑にゲームが進められるように心がける。
- ・ TO 器具、用具の点検を行う。
- ・ TO チームとコミュニケーションを取る。
- ・ 試合開始 10 分前までに TO チームを席に着かせ、用具の点検や操作方法を確認させる。
- ・ オルタネイティング・ポゼション・ルールの矢印（ポゼション・アロー）の担当を確認する。（スコアラー、アシスタント・スコアラー）
- ・ ゲーム中は TO チームの役割がマニュアルに沿って正確に行われているか確認する。

5F の連絡

3 分前

- ・ ブザーを一回鳴らし 3 分前を告げる。

1 分前

- ・ ブザーを一回鳴らし 1 分前を告げる。
- ・ 先発メンバーの登録をする。

試合開始

- ・ TO チームの試合開始の挨拶は座ったまま行い、試合開始に備える。
- ・ オルタネイティング・ポゼション・ルールの矢印は上に向けておく。

第 1 クォーター（6 分）

- ・ ジャンプ・ボールのタップ後ボールを保持したチームが攻める方向の反対方向に矢印を向ける。
- ・ ジャンプ・ボール・シチュエーションになった時は、矢印に手を賭けスローインが終わったら矢印の向きを反対にする。

クォーター・タイム（1分）

- ・第1クォーター終了後すぐメンバーの登録をする。
- ・第1クォーターの得点を確認する。
- ・1分でブザーを鳴らす。

第2クォーター

- ・スローインで開始。スローインが終わったら矢印の向きを反対にする。

ハーフタイム（5分）

- ・両チームのスコアラールとスコアシートを合わせて確認する。スコアシートが合わない場合は主審を呼んで協議しスコアシートを合わせる。
- ・矢印の向きを、審判に方向を変えることを告げてから反対にする。
- ・スコアボードのチーム名を反対にする。

3分前

- ・ブザーを一回鳴らし3分前を告げる。

1分前

- ・ブザーを一回鳴らし1分前を告げる。
- ・メンバーの登録をする。
- ・選手登録後、10人の選手が出場しているか、3クォーター連続出場の手がいないか確認する。

第3クォーター（6分）

- ・スローインで開始。スローインが終わったら矢印の向きを反対にする。

クォーター・タイム（1分）

- ・第3クォーター終了後すぐメンバーの登録をする。ベンチからの“同じ選手です”の言葉の登録は認めないで、必ず選手登録をしてもらい選手を確認する。
- ・第3クォーターの得点を確認する。
- ・1分でブザーを鳴らす。

第4クォーター（6分）

- ・スローインで開始。スローインが終わったら矢印の向きを反対にする。

試合終了

- ・スコアシートに記入漏れが無いか確認する。
- ・アシスタント・スコアラー、タイマー、30秒オペレーター、スコアラーのサインを確認する。
- ・副審、主審の順にサインを求める。
- ・スコアシートをコート主任に渡す。
- ・TO 用具の整理をする。
- ・別室でTO チームとミーティングを行う。

ゲーム中の確認事項

スコアラーとアシスタント・スコアラーに対して

- ・スコア・ボードの得点とランニング・スコアの得点があっているか
- ・プレイヤーファウルの回数とチーム・ファウルの回数があっているか
- ・プレイヤーファウル5回目の合図が素早く行われているか
- ・チーム・ファウル4回目の合図が素早く行われているか
- ・タイム・アウトの請求と合図が正しく行われているか
- ・矢印（ポジション・アロー）の取り扱いが正しく行われているか
- ・スコアシートにおかしなところがあったり、一方のチームから疑義の申し出があった時は、ゲーム・クロックがとめられた時に、審判に知らせる。

タイマーに対して

- ・ゲーム・クロックのスタート、ストップが正しく行われているか
- ・スタート、ストップのタイマーの合図が正しく行われているか
- ・タイム・アウトの50秒、60秒の合図が正しく行われているか
- ・各時限の終わりのブザーを正しく鳴らしているか

30秒オペレーターに対して

- ・30秒のスタートとストップが正しく行われているか